



令和2年度
学校だより
No.15

【目指す児童像】

若竹

・明るく元気な子
・思いやりのある子

・意欲的な子
・誠実な子

令和3年3月24日
戸市立千波小学校

・よく考える子
・進んで働く子

令和2年度修了式 一年間ありがとうございました。

正門の桜の花が六分咲きとなり、晴天に恵まれた本日、令和2年度修了式が実施されました。令和2年度のスタート4月は、新型コロナウイルス感染症対策のため、始業式から3日間で臨時休業になりました。また、その後は、分散登校を経て6月より本格的に学校が始まるという思いがけないものでした。様々な制約を受ける中、運動会に代わる「ミニ秋動祭」、徒歩による遠足、分散による授業参観…等、いろいろな行事を工夫と苦勞を重ね、実施してきました。その都度、じっくりと児童に向き合い、共に時間を過ごすことのできた一年間でした。児童



も心身ともに大きく成長しました。修了式の本日は、児童の顔は皆晴れ晴れとしていて、みんな「マスクでも笑顔」で元気に挨拶をしてくれました。令和3年度も明るく元気に声を出して過ごせることを祈っています。

保護者、地域の皆様におかれましては、本年度の教育活動に際しましては、新型コロナウイルス感染症対策に伴う多くの中止や変更等に、ご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございました。次年度以降も変わらず千波小学校の発展にご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

バトンルー

6年生が卒業して翌朝には5年生が朝の「ちょボラ活動」として、正門付近や校庭の掃き掃除に取り組んでいます。6年生からしっかりとバトンを受け取り、「ちょボラ活動」だけでなく委員会活動や国旗当番にも張り切って取り組んでいます。4年生も、職員室前や各教室前の廊下の「ちょボラ活動」に取り組んでいます。今年度は、多くの行事が中止になりましたが、千波小の伝統としてつながれてきた「先輩、後輩の絆」「ボランティアの心」はしっかりと受け継がれ安心していきます。



千波小コンコン噂話

うわさばなし

(最終回)

○在校児童の思いやり

修了式間近になってから、在校児童が職員室を訪れて、ちょっとしたプレゼントをくれます。「どうしたの?」と聞くと、「校長先生や教頭先生にも一年間お世話になったから」と返事が。多くの時間、携わったわけではありませんが、各行事が終わる度に児童の誰かから「お世話に



になりました」「ありがとうございました」の言葉が聞かれました。感謝の気持ちを素直に伝えられる、そんな千波小児童に対し、いつも素敵な気持ちと素晴らしさを感じた一年間でした。

◆今後の予定◆

【離任式】

- ・令和3年3月31日(水)
- ・午前8時30分までに登校
各教室でのテレビ放送で実施
- ・午前9時40分頃下校 バス10時

【始業式】

- ・令和3年4月6日(火)
- ・午前8時10分までに登校
クラス発表 各昇降口に貼出し
- ・午前10時55分頃下校 バス11時10分

【入学式】

- ・令和3年4月7日(水)
- ・2～6年生 通常登校8時10分まで
- ・午前10時55分頃下校 バス11時10分



今後も学校だより「若竹」を通して学校の様子をお伝えしたいと思っています。よろしくおねがいします。
「若竹」カラー版や千波小の日々の様子は 千波小ホームページから <http://www.magokoro.ed.jp/senba-e/>